

教科目名 卒業研究 (Graduation Research)

学科名・学年 : 電気電子工学科 5年

単位数など : 必修 8単位 (前期2コマ, 後期6コマ, 学習保証時間 156時間)

担当教員 : 電気電子工学科 教員

授業の概要			
各教員から提示されたテーマを選択して研究課題とする。なお学生自ら考えたテーマを担当教員と十分相談の上、研究課題とすることもある。これまで学んだ知識・技術を基に研究を進め、調査能力、データ解析力、論理的思考能力、問題解決能力、討論能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、作文能力、自主学習能力などを総合的に身につける。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (G1) (D1), JABEE 目標 (d2b) (d2c) (e) (g) (h)	
(1) 社会的要求に端を発した研究の背景を理解し、問題を解決するための手段をデザインし、考えることができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読, 研究への取り組み)。 (2) 研究に関する知見を収集し、必要な実験・解析を行い、結果を考察することができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読)。 (3) コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力, 文章表現能力を身に付け、他者との討論ができる (中間報告会, 卒業研究審査会, 論文査読)。 (4) 研究に主体的に取り組むことができる (研究への取り組み)。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
4月 4-9月	1. ガイダンス, テーマ説明 2. 研究課題の決定 3. 研究(初期段階)	1. 「卒業研究の手引き」を参考にする。 2. 担任を中心に調整する。 3. 卒業研究内容は就職面接や入試面接で決まって尋ねられるので、早急に研究の主旨を掴み、説明できるようにする。	【理解の度合い】
			【理解の度合い】
9月 9-11月	4. 中間報告会(準備および発表) 5. 研究(中期段階)	4. 中間報告会は研究内容を他者に伝える技術を身につけることと、研究の方向性や方法についての他者からの助言や批判により、研究の内容を充実するために実施される。 5. 本格的な研究に入る。	【理解の度合い】
12-1月 1月末	6. 研究(後期段階) 7. 卒業論文およびその概要提出 8. 卒業研究審査(準備)	6. 後期中間試験後は最終的なデータまとめと論文作成に入る。 7. 指定された期日までに必ず提出すること。 8. プレゼンテーションの準備をする。	【理解の度合い】
2月	9. 卒業研究審査会	9. 最終的な試問による審査を行う。	
履修上の注意	この科目は必修科目であることを注意しておく。各時間の始まりに HR において担任が出欠をとる。研究課題はガイダンスで研究テーマの説明を受け、担当教員とも相談の上で決定する。担当教員の付きっきりの指導はないので主体的に取り組むことが求められる。		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	担当教員と相談しながら、各自で探す。		
関連科目	電気電子工学科 全科目, プロジェクト実験 I (専攻科), プロジェクト演習 IV (専攻科), 特別研究 (専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について、中間報告会と卒業研究審査会および担当教員による論文査読で評価する。 総合評価=中間報告会の評点の平均×0.1+卒業研究審査会の評点の平均×0.3+論文査読の評点×0.4+研究への取り組みの評点×0.2 総合評価が 60 点以上を合格とする。		